万年企業を目指して
中里珈琲館
焙煎
管理センター ☎000-0029

- 新人地区大会報告（長距離・投擲編）
- 自己ベスト更新
- 今後の予定

THE YUUOU MAISIN
勇往邁進
2022年（令和4年）
9月 12日 月曜日
Ver.29
発行所 さいたま市浦和区元町1丁目28番17号 ☎(048)886−2151

新人地区大会報告

秋シーズン、勝負所の県大会へ

9月8日（木）と9日（金）の2日間で、2週間前に行われた新人南部地区予選会が、2位までの区内の勝ち抜くのは容易ではない。南部地区大会は、県大会に向けて、ハードル無しの、シビアな、ハードルは許されない。そういう意味で、とても難しい試合だ。

同じく1年生の鈴木は、県大会に向けて、準備が出来ている。いい成績を目指して、100mと200mに兼ねて、共に決勝に進出、決勝は、他の出場種目を回避、と、2年生の、良い記録、悪い記録、のものは、県大会で、勝負するために、準備段階で、どうの競技を、捉えるのか、という、方で臨んでいたようだ。昨年の大野（80m）、今年の山岸（400mH）に続く、選手の登場を期待したい。県大会は、22日から24日まで行われる。3日間、熊谷で、行われる。

記載すると、1年生に、ついては、別に、果の詳細（特に入賞者）に、ついて、なかなか、ウンドで、勝負する、のは、難しい、ことが、新人戦、の、どの、なければ、ならない。結位、岡田が、800mで1位、1500mで3位

伊藤：「やり投げは県に繋がる投げをすることを目的に競技に臨みました。少し感覚を掴めた部分もありますが、はまったと言える投げはできませんでした。県の抱負は1本目から30m投げることなので、今回得た改善点に集中して取り組み、技術だけでなく精神面でもしっかりとした準備をしていきます。高跳びは自分の状態の見極めができていなかったと反省しています。練習状況や試合のポイントは毎回違うことを再認識しました。県でベスト が今シーズンの目標なので、今できる1番の跳躍をすることを考えて練習していきたいです。」

江良：「今回の南部新人戦は悔いきれないほど不完全燃焼の結果となって終わりました。関東選手権が終わってから約2週間ほど自分の中でさまざまな意識をして走るようにしました。例えば、走ってる時の接地の仕方や反発など。しかし、本番直前のアップをトレーナーさんに見てもらうと足を使えていなくて正しい動きができていませんでした。今回の大会では改めて走る時の基礎がまだまだ甘いことを学びました。県大会までの残り2週間は、リラックスして自分の走りやすいフォームを見つけられるように頑張ります。そして決勝に進出しシーズンベストをだして優勝したいです。」

井上：「なかなかタイムが伸びず、苦しい時もありましたが、合宿の成果もあり、やっと自己ベストを更新することが出来ました。県大会では自分の限界を決めず、速い人についていき、さらに自己ベストを更新して納得のいく走りをしたいです。」

【2日連続での通信掲載に挑戦します。明日も、乞うご期待！】

岡田：「今回は1500mと800mに出場しました。1500mを予選、決勝と1日に2本走ることは初めてだったので予選は抑えて走りましたが、決勝での足の疲労は思っていた以上でした。そのなかでもラストの一周を自分なりにあげることができました。が目標としていた4.40は切ることができず、2位との差も大きかったので県大会では1つでも上の順位をねらい、ラスト400mのスパートをしっかりかけられるような練習をしていきたいです。800mは今回は本命ではありませんでしたが1500mの練習をつんだことでラスト上げることができ、順位的には満足のいく結果となりました。2種目とも絶対に後悔が残るレースをしないために残りの2週間がんばります！」

自己ベスト更新、おめでとう！

○加計柚人(2)400m:51.39 400mH:56.19
○武野和希(2)200m:22.79
○脇侑輝(2)走幅跳:6.03
○和久津友杜(2)5000m:16.49.21
3000mSC:10.40.79
○青井和真(1)200m:23.81
○井上夏妃(2)3000m:10.42.85
○原田京佳(2)走幅跳:5.01
○和田望(2)3000m:12.15.57
○蔵野絢果(1)400mH:1.14.23
○鈴木愛和(1)200m:26.94
○加計・武野・青井・脇1600mR:3.28.71

九月十九日（月）	○平成国際大長距離記録会 於：鴻巣
	○敬老の日
九月二十二日（木）～二十四日（土）	○新人県大会 於：熊谷
九月二十三日（金）	○秋分の日
九月二十七日（火）～二十九日（木）	○さいたま市新人大会 於：駒場
十月八日（土）	○学校説明会
十月十日（月）	○上尾市秋季記録会 於：上尾
	○スポーツの日